

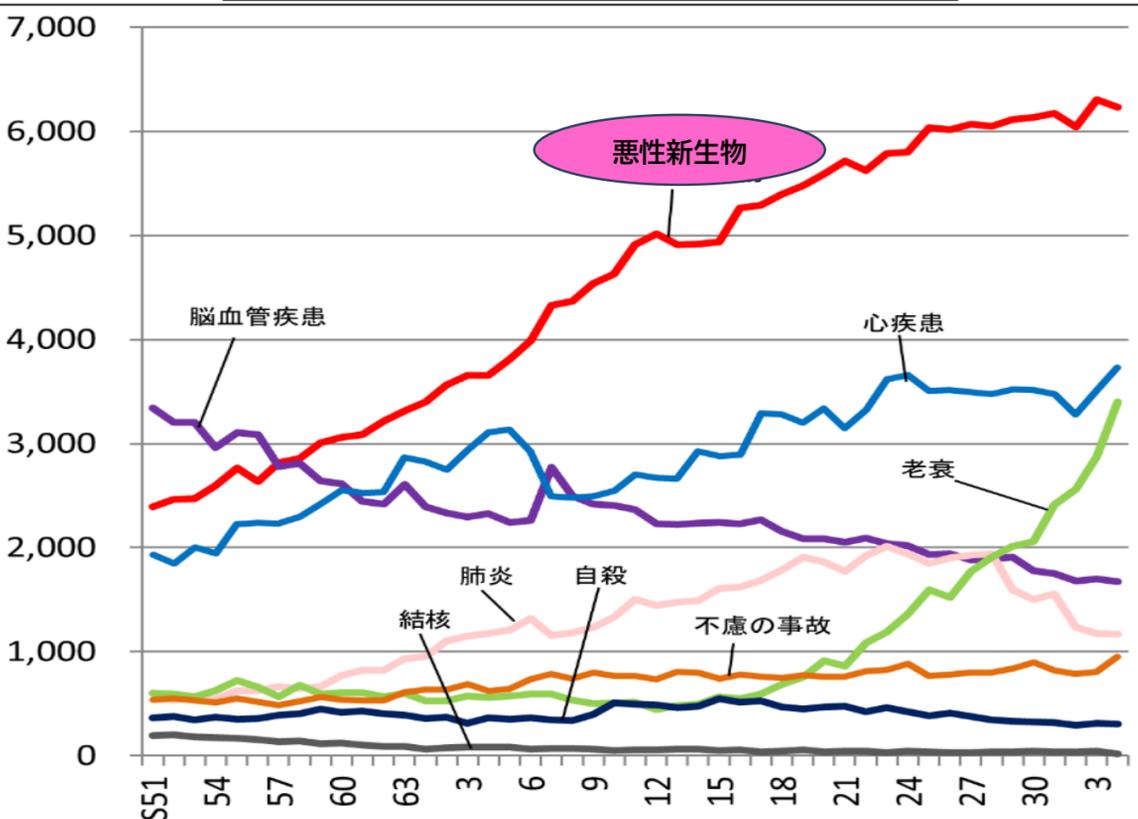
自分のために、あなたを必要する大切な人のためにも

がん検診を受けましょう！！



★岐阜県では年間6千人以上の方が”がん”でなくなっています。
2人に1人が生涯において一度はかかると推計されており、働く世代にとっても、”がん”は身近な病気です。

岐阜県の主要死因別死亡数の年次推移



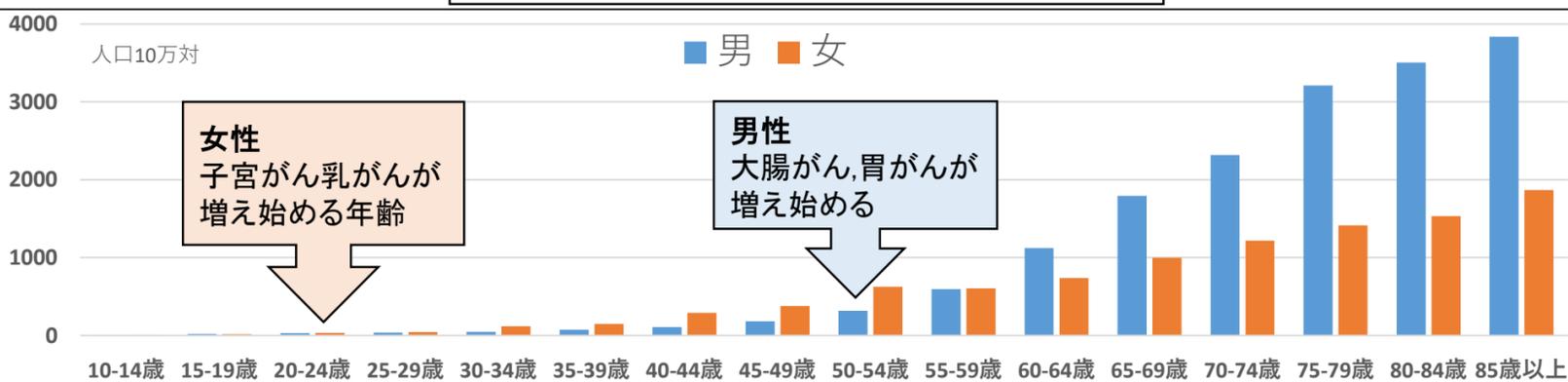
出典：岐阜県衛生年報（令和3年）

岐阜県の5歳階級別の死因（令和3年）

年齢	第1位	第2位	第3位
総数	悪性新生物	心疾患	老衰
0歳	先天奇形	呼吸障害	感染症
1～4	先天奇形	不慮の事故	
5～9	不慮の事故	腸管感染症	悪性新生物
10～14	その他の新生物	先天奇形	不慮の事故
15～19	自殺	不慮の事故	悪性新生物
20～24	自殺	悪性新生物	不慮の事故
25～29	自殺	不慮の事故	心疾患
30～34	自殺	悪性新生物	不慮の事故
35～39	悪性新生物	自殺	不慮の事故
40～44	悪性新生物	心疾患	自殺
45～49	悪性新生物	自殺	心疾患
50～54	悪性新生物	心疾患	自殺
55～59	悪性新生物	心疾患	自殺
60～64	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
65～69	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
70～74	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
75～79	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
80～84	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
85～89	悪性新生物	心疾患	老衰
90～	老衰	心疾患	悪性新生物

★”がん”は年齢とともにかかる率が高くなります。
男性は、胃・大腸がんが50代前半から、
女性は子宮、乳がんが20歳代から増え始めています。

岐阜県の年齢階級別罹患率（人口10万対）



出典：「岐阜県のがん登録」
—2020年次集計結果—

★がんによる死亡や、治療などによる生活の質の低下を減らすには早期発見・早期治療が重要です。科学的根拠が確立したがん検診を受診しましょう！

国が推奨するがん検診

胸部レントゲン検査

40歳以上の男女

HPV単独法
細胞診検査・内診

20歳以上の女性
2年に1回

肺がん

胃がん

子宮がん

乳がん

バリウム検査
胃内視鏡検査

50歳以上の男女で2年に1回
※バリウム検査は当面は40歳以上
以上に年1回可

大腸がん

便潜血検査

40歳以上の男女

マンモグラフィー検査

40歳以上の女性
2年に1回

職場で受ける機会が無い方は、是非、お住まいの市町村の健（検）診をご活用ください。
※詳細は西濃保健所ホームページの「健（検）診実施体制一覧」をご確認ください

